

鳥取市庁舎の耐震改修を検討する市議会の「市庁舎耐震改修等に関する調査特別委員会」（橋尾泰博委員長）の4回目の会合が14日、開かれた。参考人として耐震改修案をまとめた建築家、山本浩三氏（75）を招致。設計・監理費8000万円を除いた概算の建築工事費約20億円の積算根拠などを尋ねた。

山本氏は住民投票後に改めて計算した概算見積もりを議員らに提示。

[以下、未収録]